



# 東京活性化宣言!

東京都議会議員(小金井市選挙区)

## 西岡真一郎

2008(平成20)年10月

No.14

# 都議会レポート

発行 都議会民主党政策調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

## 平成20年第3回定例会・都政報告特集号!

### 石原銀行 未だに誰も責任負わず。 自公賛成で無責任な540億円の基金を早期積み立て。



平成20年第3回定例会が10月6日(月)に閉会。今定例会には、一般会計で935億円の補正予算が提案されました。この予算の約6割にあたる540億円は、新銀行の損失処理に充てられます。この時期を選んで提案され

たのは、来年7月に予定される都議会議員選挙とは、できるだけ離したいとする与党の思惑があったと指摘されています。西岡真一郎は財政委員会にて、「法令上も、今、処理する必要がないことから、銀行失敗の責任を明確にしないまま、なし崩しに処理すべきではない。」と主張し、予算の組み替えを提案しましたが、自民党・公明党の反対で否決され、補正予算に反対しました。民主党は、引き続き、新銀行や東京オリンピック招致、築地市場移転など、都政の様々な問題を徹底して追及していく決意です。

### 西岡真一郎、財政委員会にて新銀行東京の減債基金積み立てに異議を主張! 新銀行東京の1016億円の減資に伴う減債基金540億円の積み立ては時期尚早!

石原知事が提案した補正予算は、景気対策に名を借りた「新銀行の損失処理予算」でしかありません。新銀行の今年4~6月の無担保・無保証融資件数は、前年同期比93.4%減の29件に激減。つまり、中小企業支援を目的に設立された新銀行は、景気後退の状況で、何の役にも立たず、かえって540億円もの余計な支出を強いているのです。石原知事は、旧経営陣の責任について「いろいろな事例がでている」とか、事業連携について「9月には報告する」など、マスコミ相手には大風呂敷を広げていますが、民主党が質問すると、ハッキリ答えず、再度質問しても、役人に答弁させる無責任さです。また、7月25日に立入が終了した金融庁の検査結果について、都は開示を求めないと答弁するなど、都議会との約束であった「適切な監視」も反故にしています。西岡真一郎

は、損失責任を誰も取らないことや金融庁の検査結果が不明なままで、急いで処理すべきでない」と主張し、補正予算の組み替えを提案、予算案に反対。さらに、都議会と国会で連携して、金融対策チームを立ち上げるなど、金融庁や日銀とも厳しいやりとりをしながら、この問題を徹底的に追求しています。



▲株主である都民への説明と責任を果たすべき新銀行東京

## 西岡真一郎の財政委員会での質問要旨

減債基金540億円の積み立ては、いずれは必要な手立てだが、今は都知事としての新銀行東京に関する都民への説明と責任を全うすべきであり、積み立ては時期尚早である。540億円は地方財政法にも準拠し、かつ利回りも同額である財政調整基金に積み立てることが望ましい。

- ①国が定めた「地方債同意等基準」では700億円の都債による出資金が、財産として将来にわたり維持されるという合理性、都がこの責務を負うことが定められているが、3年で失われた。都の財政当局としてこの責務に関する見解を問う。
- ②都の出資金が失われた事例は過去にもあったのか。
- ③自治体が銀行に出資するのは史上初めてで、通常の協議から許可までに要すべき時間である1ヶ月をゆうに超える、半年間を費やした。都の見解を問う。
- ④都は「新銀行マスタープラン」を基に総務省を説得したようだが、現在も妥当な説明であったと考えるか。
- ⑤今日までに他の自治体が銀行に出資した事例があるのか。
- ⑥3年で事業に失敗し、配当も全くなく、都債603億円分を始め861億円を棄損した。新銀行の損失



による都債の償還を行うべき事由とは「事業の失敗」である。都の見解は。

- ⑦目的を失った都債に対して、財務当局としての見解を問う。
- ⑧減債基金を最終年度以外で積み立てた事例があるのか。
- ⑨新銀行東京の累積損失による減資対応に対する査定当時の知事の見解は。
- ⑩剰余金を現金で運用するよりは「基金」として運用する方が、利回りとして0.614%有利であって、半年間で1.66億円分メリットがあるとした考えだが、財政調整基金に積み立てても、利回りは同様。都民の財産を棄損した責任をまずは明確にしていくべきだが、都の見解は。
- ⑪540億円を減債基金へ積み立てることが都債発行への悪影響を回避できる

としているが、投資家が都債へのクレジットを分析するならば、都財政全体を見渡して評価することが通例。都の見解は。

私達は、この減債基金以外に盛り込まれた緊急対策については肯定的に受け止めているが、540億円の繰越金は当面、財政調整基金に積み立てることが適切な判断。答弁は平行線。わが会派としては議会ルール（組み替え動議）に則り、今後の対応を図っていくことを表明する。

## 会派政調副会長、財政委員会副委員長として都政改革に邁進！ 西岡真一郎、政務調査費の使途基準見直しと1円以上の公開を実現！

議員提案による政務調査費の交付に関する条例が、今議会で成立。争点となっていた領収書添付と公表範囲は、1円以上すべてとなり、民主党が主張していた内容がほぼ盛り込まれました。西岡真一郎は、都議選での民主党マニフェストにも盛り込まれた重要課題であることを主張し、都議会民主党議会改革プロジェクトチーム座長として、また都議会のあり方検討委員会委員として、議会改革を精力的にリード。最後は、自民党なども了承し、議会の多数の賛同を得ています。また、中立的な立場からチェックを行う第三者機関を設け、外部の専門家のみで構成することなども決まりました。改正条例は、来年4

月1日から実施されますが、今年度分の領収書等も、公表できる規定が盛り込まれています。



▲議会改革は道半ば、これからも精力的に取り組みます

## 東京オリンピック招致で「平和」の理念発信を

2016年の東京招致に関して、民主党は、広島・長崎など平和都市と連携し、オリンピックを「平和運動」と位置づけていくべきだと主張。これに対して、石原知事は「それは当然のこと」とは答えますが、その具体的な行動・計画は全く見えません。また、民主党は、当初国が整備するとしたメインスタジアムが、その後、都が建設し、1214億円を負担する計画に変更されたことも、都民に未だ知られておらず、理解も得ていないと批判し、国と再協議すべきと主張しました。

## 「ゲリラ豪雨」が頻発 保水力のある都市づくりを

この夏は「ゲリラ豪雨」による被害が相次ぎました。この発生要因として、地球温暖化や都市化の影響が指摘されています。河川・下水道の整備も重要ですが、民主党は、ゲリラ豪雨の発生抑制策として、平成17年都議会議員選挙のマニフェストでも掲げた、ヒートアイランド対策としての「風の道」の確保に配慮したまちづくりの展開や、保水力のある都市づくりという観点から雨水浸透ますや透水性舗装の普及などを求めたところ、都も前向きな姿勢を示しました。また、西岡真一郎は小金井市の雨水浸透ますの先進的な取り組み事例を代表質問に盛り込み、東京都に全都的な取り組みと支援を求めました。



## 汚染米の食用流通排除へ国への意見書提出

日本では使用が許可されていない農薬のメタミドホスや発ガン性のあるカビ毒に汚染された事故米穀、いわゆる汚染米が、不正に流通し、焼酎や和菓子、給食にまで混入していました。本来食用でないものが、食用と偽って販売され、何年も発覚しなかったことは、汚染米の流通に大変重大な欠陥があったと

## 子どもの重大事故ゼロへ 予防に役立つ情報の収集を

個々の不注意や事故と思われがちなかケガも、集約すれば日常に潜む危険性を浮き彫りにでき、対策を講じることができます。例えば、親子の二人乗りでの自転車転倒事故では、駐輪時にも脳挫傷などの重傷を負う例が多いという、救急医の情報集約から、都の子ども用ヘルメットキャンペーンへと結びつき、普及につながりました。予防に役立つ情報とは、事故前から後までの全体を網羅する詳細なデータと言われます。民主党は、こうした情報を継続的に収集する仕組みを作り、子どもの重大事故ゼロを目指して取り組みを強化することを求めました。



## 自殺防止対策の強化を求める

自殺で亡くなる人は、毎年3万人超。動機は経済・生活問題が約1万人、病苦が9千人で、三分の一は、多重債務などの借金苦で自殺したと思われます。一方、72%が相談機関に行き、うち83%は精神科など医療機関に行っていますが、借金問題の相談機関にはほとんど行っていません。民主党は、従来中心だったうつ対策に加えて、経済問題による自殺をなくす観点からの支援をもっと強化すべきと主張。都も「幅広い分野の取り組みを進める」と答弁。さらに、地域特性に応じた区市町村の自殺対策、支援にアクセスできていない人への情報伝達を求めたのに対して、都は「モデル事業を踏まえて区市町村へ支援のあり方を検討。様々なチャンネルを活用して、確実に情報が提供できるよう努める」と答弁。



言わざるを得ません。民主党は、二度とこのようなことが起こらないよう、徹底した再発防止策と、汚染米の処理方法の抜本的見直しを国に求める意見書を提出しました。意見書は、自民党、公明党、共産党の反対で、国に提出することはできませんでした。

## 西岡真一郎の活動報告 (2008年7・8・9月)

### 毎日大奮闘!!

各種団体からの東京都予算要望に関するヒアリング活動(60団体以上)、小金井市内各種夏祭り、野川ほとる村総会、都議会のあり方検討会視察(兵庫県・大阪府議会)、民主党大学東京、小金井子育てメッセ、野川で遊ぼうイベント、第43回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会、第30回小金井阿波踊り大会、第42回東京都市町村総合体育大会開会式、都議会民主党役員による石原都知事表敬訪問、中東和平プロジェクトin小金井式典、江戸東京たてもの園夕涼み、西岡真一郎事務所主催「上級救命講習会」、北京オリンピックトライアスロン日本代表選手壮行会、第30回小金井薪能、日韓文化交流会

▶7月25日(金)第30回小金井阿波踊り大会開会式にて



小金井阿波踊り大会、第42回東京都市町村総合体育大会開会式、都議会民主党役員による石原都知事表敬訪問、中東和平プロジェクトin小金井式典、江戸東京たてもの園夕涼み、西岡真一郎事務所主催「上級救命講習会」、北京オリンピックトライアスロン日本代表選手壮行会、第30回小金井薪能、日韓文化交流会

オープニングセレモニー、こがねい市民討議会、第10回小金井アスロン大会、小金井市商工会納涼会、小金井市防災訓練、都議会オリンピック招致特別委員会による北京パラリンピック視察、子ども達を薬害から守る実行委員会活動、東京都芸術文化振興議員連盟総会、小金井



▶8月31日(日)小金井市総合防災訓練会場(小金井市立第3小学校)にて



▲9月9日(火)応急救護知識技術の普及貢献にて小金井消防署長感謝状を授与されました

市市民体育祭開会式、青少年のための科学の祭典in小金井、防災都市づくり推進東京都議会議員連盟、小金井市立小学校の運動会、小金井青年会議所35周年記念式典、都議会民主政策調査会各種会議、小金井音頭保存会発起人会、他多数

都民相談、都議会見学、インターンシップ活動等、お気軽にご連絡下さい!

### 西岡真一郎の役職・担当

(2008年10月現在)

#### 常任・特別委員会・審議会等

財政委員会副委員長、オリンピック招致特別委員会委員、都議会のあり方検討委員会委員、東京都薬事審議会委員

#### 会派

政策調査会副会長、議会改革プロジェクトチーム座長、島嶼振興等調査会委員他

#### 議員連盟等

東京都議会花粉症対策推進議連幹事、東京都議会芸術文化振興議連幹事、東京都議会オリンピック招致推進議連委員、北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を図る東京都議会議員連盟委員、防災都市づくり推進計画・促進東京都議会議連委員、東京都男女共同参画社会推進議連委員、FC東京をサポートする東京都議会議員の会委員、東京都議会日韓議連委員、東京都議会東京多摩国体推進議員連盟委員

#### その他

北多摩南部地域保健医療協議会特別委員

## 西岡真一郎プロフィール



●1969年武蔵野市生まれ・39歳/小金井市立南小・第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業/自民党本部事務局・新党さきがけ本部事務局・最年少の小金井市議会議員2期8年(無所属)、議会運営委員会委員長等を歴任。青年会議所や薬物乱用防止等の多数の地域活動に従事。2005年7月の東京都議会議員選挙にて初当選(民主党公認)。

●特技:阿波踊り、趣味:映画鑑賞、スポーツ:トライアスロン

●地域活動:小金井青年会議所監事、小金井市トライアスロン連合会長、子ども達を薬害から守る実行委員会事務局長、小金井新能理事、小金井音頭保存会発起人等を務める。

西岡真一郎ホームページ  
ブログ毎日更新中!

都議会西岡 で検索下さい!



●東京都庁連絡先

〒163-8001

新宿区西新宿2-8-1 議事堂5F 都議会民主党  
電話 03-5320-7230/FAX 03-5388-1784

●小金井事務所連絡先

〒184-0004 小金井市本町1-6-2 アリスビル1F  
電話 042-386-5771/FAX 042-386-5773  
mail : DZG01370@nifty.com

ご意見欄 都政や小金井市の事等、ぜひお気軽にご意見をお寄せ下さい。送信先▶FAX:042-386-5773、又はmail:DZG01370@nifty.com

お名前	ご住所	お電話
-----	-----	-----